

**小 平 市**

**高 齢 者 生 活 状 況 ア ン ケ ー ト  
介 護 保 険 サ ー ビ ス 利 用 状 況 実 態 調 査**

**報 告 書**

平成 2 3 年 3 月

小 平 市



# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的と方法 .....	1
2 調査結果の概要 .....	3
<b>第2章 高齢者生活状況アンケート</b>	
調査票の記入者 .....	7
1 ご本人について .....	8
(1) 性別 .....	8
(2) 年齢 .....	9
(3) 住まいの地域 .....	10
(4) 要介護認定の有無 .....	11
(5) 世帯構成 .....	12
(6) 1か月の収入 .....	13
2 医療・健康について .....	14
(1) 健康状態 .....	14
(2) 医療機関の受診状況 .....	14
(3) かかりつけ医のいる医療機関 .....	15
(4) 通院や医療に関して困っていること .....	16
(5) 食生活について気をつけていること .....	17
(6) 定期的な運動の有無 .....	18
(7) 定期的に運動をしていない理由 .....	19
(8) 介護予防事業への参加意向 .....	20
3 日常生活について .....	21
(1) 日常生活で困っていること .....	21
(2) 日中独居・夜間独居の有無 .....	24
(3) 緊急時の連絡先 .....	25
(4) 住まいの種類 .....	26
(5) 住まいについて困っていること .....	28
4 相談・権利擁護について .....	30
(1) 福祉情報の入手方法 .....	30
(2) 見守りや声かけの希望 .....	31
(3) 地域包括支援センター・権利擁護センターこだいらの認知度 .....	33
(4) 福祉に関する相談の意向 .....	34
(5) 介護が必要になったときの金銭等の管理について .....	35
(6) 成年後見制度等の利用意向 .....	36

5	外出・社会参加について	37
	(1) 外出の頻度	37
	(2) 外出の目的	38
	(3) 外出の際の主な交通手段	40
	(4) 近所づきあいの程度	41
	(5) 家族・親族以外との関わり	42
	(6) 就労の有無	43
	(7) 社会活動への参加状況	44
	(8) 社会活動への参加意向	45
	(9) ボランティアセンターの認知度	46
6	介護保険制度について	47
	(1) 介護保険制度への評価	47
	(2) 介護保険料の負担感	48
	(3) 介護保険料とサービス水準の関係	49
7	今後の生活について	50
	(1) 介護が必要になったときの希望	50
	(2) 自宅で生活したい理由	52
	(3) 施設などに入りたい理由	53
	(4) 自宅で暮らし続けるための課題	54
	(5) 重要と思う高齢者福祉の取り組み	55
8	自由意見	56

### 第3章 介護保険サービス利用状況実態調査 61

	調査票の記入者	61
1	ご本人について	62
	(1) 性別	62
	(2) 年齢	62
	(3) 要支援・要介護認定	63
	(4) 1か月の収入	64
2	住まいについて	65
	(1) 住まいの種類	65
	(2) 住まいの地域	66
3	ご家族や介護者について（在宅者）	68
	(1) 世帯構成	68
	(2) 日中独居・夜間独居の有無	71
	(3) 普段の介護者	72
	(4) 介護者（家族・親族）の性別	74

(5) 介護者（家族・親族）の年齢	75
(6) 介護者（家族・親族）が困っていること	76
(7) 必要な介護者支援	78
4 サービス利用の有無について（在宅者）	79
(1) サービス利用の有無	79
(2) サービスを利用していない理由	81
5 ケアプラン作成について（在宅者）	82
(1) ケアプラン作成依頼の有無	82
(2) ケアプラン作成事業者選択の方法	83
(3) ケアマネジャーの対応への満足度	84
(4) ケアマネジャーへの希望	85
6 居宅サービスについて（在宅者）	86
(1) 訪問系サービス	86
(2) 通所系サービス	87
(3) その他の居宅サービス	88
(4) サービス利用に関して困ったこと	90
(5) 不満や苦情を伝えた相手	92
(6) 不満や苦情を伝えたことによる改善状況	93
(7) サービス利用による心身状況の変化	94
7 利用者負担について（在宅者）	95
(1) 利用限度額に対する利用割合	95
(2) 利用限度額まで利用しない理由	97
(3) 利用者負担に対する感じ方	98
8 今後の利用意向について（在宅者）	101
(1) 今後新たに利用したいサービス	101
(2) 地域密着型サービスの利用意向	103
(3) サービス事業者に希望すること	104
9 施設サービス等について（施設等入所者）	105
(1) 入所施設等の種類	105
(2) 居室の種類	106
(3) 個室の利用希望	106
(4) 施設でのサービス内容について	107
(5) 施設での生活で困っていること	108
(6) 施設利用料の負担感	109
(7) 在宅生活に戻る場合の課題	110
10 自由意見	111



# 第 1 章

## 調査の概要



# 1 調査の目的と方法

## (1) 高齢者生活状況アンケート

### ①調査目的

この調査は、平成 23 年度に策定が予定されている『小平市高齢者保健福祉計画・小平市介護保険事業計画』の基礎資料とするため、高齢者の生活状況や支援サービスの利用意向等を把握するために実施しました。

### ②調査対象

平成 22 年 12 月 1 日時点において、市内に居住している 65 歳以上の高齢者 36,913 人の中から、3,500 人を抽出しました。(抽出率 9.5%)

抽出は、住民基本台帳及び外国人登録より無作為に行いました。

### ③調査方法

配布・回収とも郵送で行いました。(回答は無記名)

### ④調査期間

平成 23 年 1 月 7 日から 1 月 31 日

(ただし、2 月 16 日までに調査票が返送されたものは集計に加えています)

### ⑤配布・回収状況

配布数	回収数	白票 無効票	有効回収数	有効回収率
3,500	2,365	2	2,363	67.5%

## (2) 介護保険サービス利用状況実態調査

### ①調査目的

この調査は、要支援・要介護認定を受けた方のサービス利用実態、満足度、意向等を把握し、今後の介護保険サービスの基盤整備、需要と供給の適正化、新たな施策の対応等、制度運営の充実に資することを目的に実施しました。

### ②調査対象

平成 22 年 12 月 1 日時点において、要支援・要介護認定を受けている方（施設入所者を含む）5,696 人の中から、2,900 人を抽出しました。（抽出率 50.9%）

### ③調査方法

配布・回収とも郵送で行いました。（回答は無記名）

### ④調査期間

平成 23 年 1 月 7 日から 1 月 31 日

（ただし、2 月 16 日までに調査票が返送されたものは集計に加えています）

### ⑤配布・回収状況

配布数	回収数	白票 無効票	有効回収数	有効回収率
2,900	1,884	5	1,879	64.8%

### ◆ 調査結果の見方について

- ① 表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が%（小数点以下第 1 位まで）を表示しています。
- ② 集計した数値（%）は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示しています。このため、単数回答の場合、選択肢の数値（%）を全て合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100%を越えます。
- ④ 回答結果を見やすくするため、グラフでは無回答など一部の項目を省略している場合があります。

## 2 調査結果の概要

### (1) 高齢者生活状況アンケート

問3 年齢 ～ 75歳以上の方は約2割 <9ページ参照>

「65～69歳」が46.4%と最も多く、次いで「70～74歳」が31.6%、「75～79歳」が11.4%、「80～84歳」が5.6%、「85歳以上」が4.2%となっています。75歳以上の方は、約2割となっています。

問6 世帯構成 ～ ひとり暮らしは1割あまり、65歳以上だけの世帯は6割弱

<12ページ参照>

「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）」が39.5%と最も多く、次いで「その他の家族が同居（65歳未満の方も同居）」が32.6%、「ひとり暮らし」が14.6%となっています。

問8 健康状態 ～ 「特に病気や障がいはない」が最も多い

<14ページ参照>

「特に病気や障がいはない」が53.7%と最も多く、次いで「病気や障がいがあるが、身のまわりのことは大体自分でできる」が41.3%、「病気や障がいがあり、身のまわりのことに手助けが必要である」が3.0%となっています。

問16 日常生活で困っていること ～ 「将来のこと」が最も多い

<21ページ参照>

「将来のこと」が18.5%と最も多く、次いで「身体健康状態」が14.0%、「急病など緊急時のこと」が12.1%、「収入や生計のこと」が11.7%となっています。

問17 日中独居・夜間独居の有無 ～ 日中独居は約3割 <24ページ参照>

「日中も夜間も一人であることが多い」が14.9%、「日中は一人であることが多い（夜間は家族がいる）」が17.1%、「日中も夜間も家族がいることが多い」は60.4%となっています。

問22 見守りや声かけの希望 ～ 「緊急通報システムによる見守り」が最も多い

<31ページ参照>

「緊急通報システムによる見守り」が18.5%と最も多く、次いで「近所の人や地域のボランティアによる見守り」が9.4%、「電話訪問」が5.8%、「地域包括支援センター職員による見守り」が5.3%となっています。

問 30 近所づきあいの程度 ～ 「あいさつをする程度」が最も多い

＜41 ページ参照＞

「あいさつをする程度のつきあいが多い」が 32.5%と最も多く、次いで「立ち話をする程度のつきあいが多い」が 31.9%、「家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる」が 21.2%となっています。「近所づきあいはほとんどない」は 7.5%でした。

問 36 介護保険制度への評価

＜47 ページ参照＞

～ 「評価している」は約 7 割、「評価していない」は 2 割あまり

「ある程度評価している」が 56.2%と最も多く、次いで「あまり評価していない」が 20.1%、「高く評価している」が 12.4%、「全く評価していない」が 3.8%となっています。評価しているという回答が約 7 割でした。

問 37 介護保険料の負担感 ～ 「このくらいの負担はやむを得ない」が最も多い

＜48 ページ参照＞

「このくらいの負担はやむを得ない」が 44.9%と最も多く、次いで「今の負担では苦しい」が 30.1%、「おおむね妥当である」が 7.2%となっています。

問 38 介護保険料とサービス水準の関係

＜49 ページ参照＞

～ 「ほどほどの保険料である程度のサービス」が最も多い

「ほどほどの介護保険料で、ある程度の介護サービスが受けられれば良い」が 57.8%と最も多く、次いで「介護保険料が多少高くても、介護サービスが充実しているほうが良い」が 20.9%、「介護サービスを多少おさえても、介護保険料が安いほうが良い」が 14.2%となっています。

問 39 介護が必要になったときの希望 ～ 「自宅で介護」が約半数

＜50 ページ参照＞

「自宅で介護を受けたい（主に、ホームヘルプなどの訪問系サービスを利用）」が 20.1%と最も多く、次いで「自宅で介護を受けたい（主に、家族の介護）」が 19.6%、「施設等に入所したい（特別養護老人ホームに入所したい）」が 12.2%、「自宅で介護を受けたい（主に、デイサービスなどの通所系サービスを利用）」が 10.8%となっています。自宅で介護を受けたいという回答は合わせて約半数、施設等に入所したいという回答は合わせて 2 割あまりでした。

問 43 重要と思う高齢者福祉の取り組み

＜55 ページ参照＞

～ 「趣味や生きがいづくり、余暇活動の支援」が最も多い

「趣味や生きがいづくり、余暇活動の支援」が 51.4%と最も多く、次いで「健康づくりや介護予防のための支援」が 37.0%、「働く機会や場の確保」が 33.1%、「入所施設の整備（特別養護老人ホームなど）」が 33.0%、「高齢者が外出しやすい公共施設・交通機関の整備」が 32.3%となっています。

## (2) 介護保険サービス利用状況実態調査

問3 年齢 ～ 「85歳以上」が約4割 <62ページ参照>  
「85歳以上」が41.6%と最も多く、次いで「80～84歳」が22.5%、「75～79歳」が17.1%となっています。75歳以上の方は、約8割となっています。

問4 要支援・要介護認定 ～ 「要介護2」が最も多い <63ページ参照>  
「要介護2」が17.7%と最も多く、次いで「要支援2」が16.1%、「要支援1」が14.3%、「要介護1」が13.8%となっています。要支援の方は約3割、要介護の方は7割弱となっています。

問8 世帯構成 ～ ひとり暮らしは3割弱、65歳以上だけの世帯は約6割 <68ページ参照>  
「その他の家族が同居（65歳未満の方も同居）」が35.6%と最も多く、次いで「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）」が28.1%、「ひとり暮らし」が25.2%となっています。

問9 日中独居・夜間独居の有無 ～ 日中独居は4割あまり <71ページ参照>  
「日中も夜間も一人であることが多い」が24.3%、「日中は一人であることが多い（夜間は家族がいる）」が18.0%、「日中も夜間も家族がいることが多い」は50.9%となっています。

問13 介護者（家族・親族）が困っていること <76ページ参照>  
～ 「介護者自身の健康に不安」が最も多い  
「介護者自身の健康に不安がある」が51.4%と最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が45.2%、「精神的につらい」が39.2%、「代わりを頼める人がいない」が36.7%、「体力的につらい」が35.6%となっています。

問15 サービス利用の有無 ～ 利用しているのは6割あまり <79ページ参照>  
「利用している」が63.0%、「利用していない」が32.1%となっています。

問16 サービスを利用していない理由 <81ページ参照>  
～ 「まだ利用するほどでもない」が最も多い  
「特にまだサービスを利用するほどでもないから」が43.8%と最も多く、次いで「家族などに介護してもらっているから」が36.1%、「病気で入院中だから」が10.2%、「利用したいが、サービスの利用方法がわからないから」が8.2%となっています。

問21 サービスの利用状況 <86ページ参照>  
～ 「訪問介護」、「通所介護」、「福祉用具の貸与」などが多い  
サービス利用が多いサービスとしては、「訪問介護（ホームヘルプ）」が43.9%、「通所介護（デイサービス）」が47.1%、「福祉用具の貸与」が40.9%などとなっています。

問 22 サービス利用に関して困ったこと <90 ページ参照>

～ 「回数や時間が足りない」が最も多い

「利用できる回数や時間が足りない」が 14.3%と最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が 10.2%、「利用料の負担が大きい」が 8.9%、「利用したいサービスを利用できない」が 7.8%となっています。「困ったことはない」という回答は、35.5%でした。

問 26 利用限度額に対する利用割合 ～ 「ほぼ限度額まで」が最も多い <95 ページ参照>

「ほぼ利用限度額まで利用している」が 26.3%と最も多く、次いで「利用限度額よりかなり少ない」が 18.6%、「利用限度額の半分程度まで利用している」が 15.0%となっています。「利用限度額を超えて利用している」は 5.2%でした。

問 28 利用者負担に対する感じ方 <98 ページ参照>

～ 「このくらいの負担はやむを得ない」が最も多い

「このくらいの負担はやむを得ない」が 52.0%と最も多く、次いで「あまり負担に思わない」が 20.0%となっています。一方で、「今の負担では苦しい」は 10.3%となっています。

問 29 今後新たに利用したいサービス <101 ページ参照>

～ 「訪問介護」、「通所介護」、「福祉用具の貸与」などが多い

利用意向が多いサービスとしては、「訪問介護（ホームヘルプ）」が 46.3%、「通所介護（デイサービス）」が 39.6%、「福祉用具の貸与」が 40.0%などとなっています。

問 30 地域密着型サービスの利用意向 ～ 「小規模多機能」が最も多い <103 ページ参照>

「小規模多機能型居宅介護」が 24.8%と最も多く、次いで「地域密着型特別養護老人ホーム」が 21.9%、「夜間対応型訪問介護」が 17.2%、「認知症対応型通所介護」が 16.1%、「認知症高齢者グループホーム」が 12.8%となっています。

問 31 サービス事業者に希望すること <104 ページ参照>

～ 「対応が丁寧であること」が最も多い

「対応が丁寧であること」が 55.2%と最も多く、次いで「自分や家族の話をきちんと聞いてくれること」が 54.5%、「ケアマネジャーとの連携がよく取れていること」が 52.7%、「介護技術が確かなこと」が 50.8%となっています。

問 32 入所施設等の種類 ～ 「特別養護老人ホーム」が最も多い <105 ページ参照>

「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」が 42.4%と最も多く、次いで「有料老人ホーム」が 18.5%、「介護老人保健施設」が 15.6%となっています。

問 38 在宅生活に戻る場合の課題 <110 ページ参照>

～ 「家族だけでは十分な介護が難しい」が最も多い

「家族だけでは十分な介護が難しい」が 67.8%と最も多く、次いで「夜間の介護や見守りに支障がある」が 56.4%、「住まいに支障がある」が 46.8%となっています。